

<熊本支部例会事前抄録>

日時：2020年1月28日(火)19:30～

会場：添島歯科クリニック研修室

- 一般講演抄録 2 -

Helman dental ageⅢ期の骨格性 ClassⅢ症例でムーシールドを用いての治療の経過と私見

鮫田誠也 共愛歯科医院 〒861-2231 熊本県上益城郡益城町安永 722-4

■抄録

幼児期の反対咬合は日常診療で多く見られる不正咬合である。

反対咬合による影響として、形態的には歯列、歯槽骨の変形及び顔面の非対称を、機能的には早期接触による咬合、顎位の偏位、さらには咬合性外傷や顎機能異常を引き起こすことも考えられる。しかし成長の予測が困難なことや個体差の存在などから早期治療の介入については様々な意見があるのも事実である。

今回は幼児期の反対咬合の治療を目的とするムーシールドを使用した初診時5歳2か月、骨格性 ClassⅢの男児のケースに於いて、術前から現在までの経過を報告し、小児期の反対咬合患者に対して早期治療が必要か否かを考察する。

本演題に関して開示すべき利益相反状態はありません。